県産材でつくる
画用木炭

岐阜県立森林文化アカデミー
森と木のエンジニア科　2年
境田　夕姫

画用木炭とは？

画用木炭とは、枝を炭化したものです。デッサンで主に使われ、鉛筆よりも早く光の表現がかける画材です。消費者の多くは美大の予備校生。描画材料としてはその歴史は古く人類最古のものといえるでしょう。

目的

県産材で画用木炭として有用な材があるのか知りたかった。

画用木炭の作りかた

枝を缶にいれる

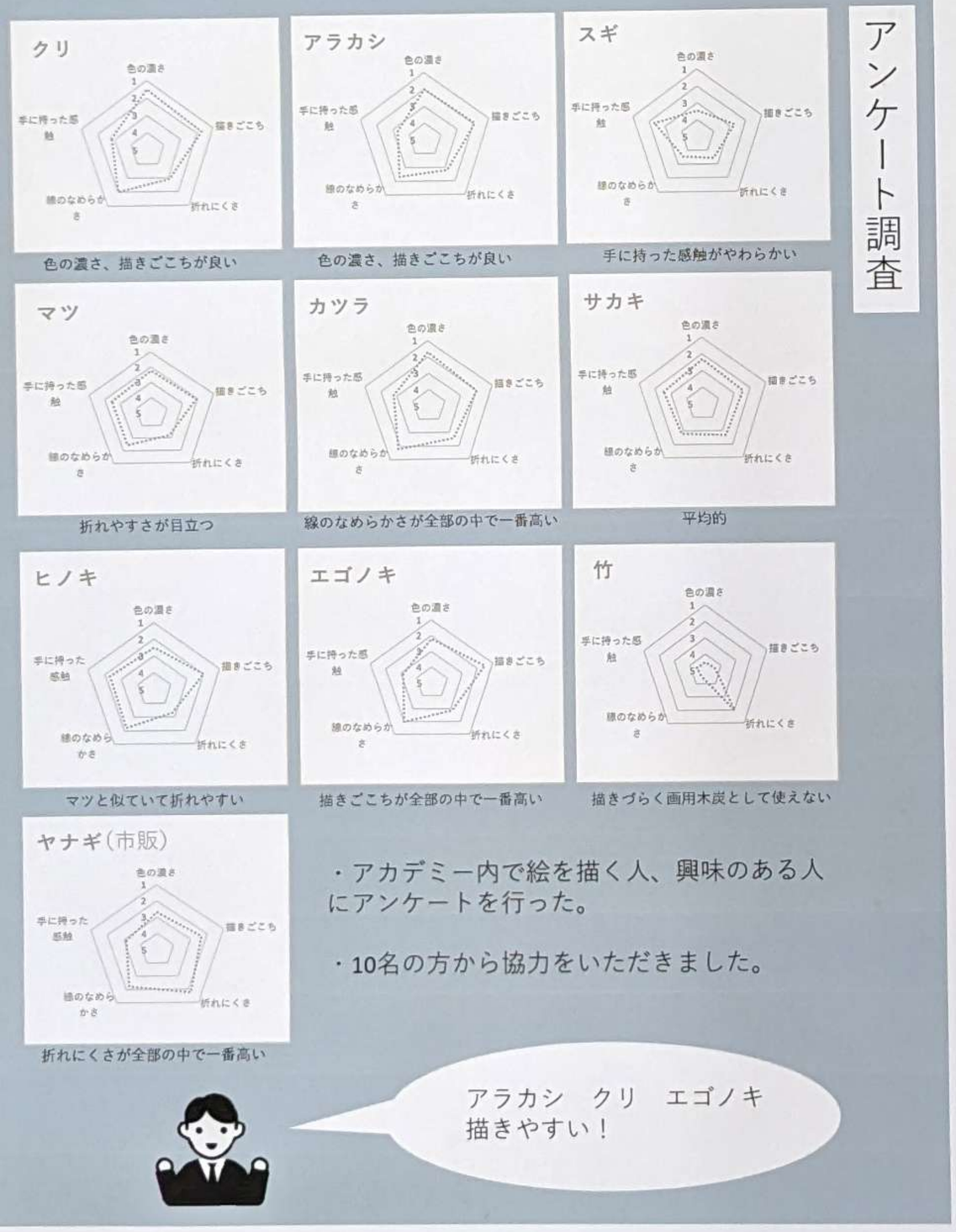
枝を集めてくる

完成！

コンロの火で焼く

十種類の画用木炭

アンケート調査



・アカデミー内で絵を描く人、興味のある人にアンケートを行った。

・10名の方から協力をいただきました。

アラカシ　クリ　エゴノキ
描きやすい！

まとめ

九種類作って使ってみてアラカシ、クリ、エゴノキが有用ではないかと思いました。三種ともに描きやすく、色の濃さも濃すぎず薄すぎず使いやすいと思ったからです。

クリはよくよく調べてみると画用木炭として市販ですでに売られている材でした。

エゴノキは非常に緻密な繊維で粘り強く、和傘のロクロとして使われております。また、エゴノキの木炭は柔らかくきめ細かいということが既に評価されており、漆塗りの仕上げ研ぎとしても使われていました。枝の部分を画用木炭として使うことができればエゴノキの可能性が広がるのではないかと思います。

画用木炭としてはエゴノキ、そしてアラカシは使われていないので有用な材を見つけることができて良かったです。

描いてみた

右：MBM木炭紙
左：アトリエ木炭紙

アラカシ
色が濃くなめらかにかける

スギ
やわらかい印象、描きごこち×

サカキ
描きやすい、色が薄い

クリ
色が濃い、折れやすい

マツ
描きごこち○、細い線がかきやすい

カツラ
色が濃い、なめらかにかける

エゴノキ
きめ細かい、描きごこち○

竹
描きごこちがわるく、色がつかない

ヤナギ（市販）
描きごこち○、濃淡がつけやすい

ヒノキ
やわらかく軽い、折れやすい

同じモチーフで2種類の紙を用いて描き比べてみました。